

今年度の外貿コンテナ代替輸送訓練報告②
【アンケート結果】

令和5年2月17日

北陸地域国際物流戦略チーム事務局

アンケート集計

1. 対象者

2022年12月12日(月)首都直下地震、12月13日(火)南海トラフ巨大地震の訓練でのWeb参加者(視聴含む)。

2. 回答者数

51名(回収率60%)(母数85名)

	首都直下地震 12月12日(月)	南海トラフ巨大地震 12月13日(火)	双方
訓練参加者	11名	15名	4名
視聴参加者	11名	8名	2名
合計	22名	23名	6名

3. 設問数

合計24問 (選択式:14問 ・選択式及び記述式:2問 ・記述式:2問)

1. どちらの代替輸送訓練に参加又は視聴しましたか。
2. 参加いただいた目的を教えてください。
3. 代替輸送訓練の開催形式について、どの形式が最適と思われますか。
4. この代替輸送訓練は平成25年から実施していますが、過去に参加したことがありますか。
4-1 「ある」と回答した方は回数を選択してください。
4-2 「ある」と回答した方は「訓練を受けて、貴社の事業継続計画へどのように活用されていますか」
5. 今回の代替輸送訓練についてどのように思われましたか。
6. **実際に災害が起こった時、事業を継続するために代替輸送が必要だと思いますか**
6-1 「必要ない」と回答した方は理由を記入してください。
7. **実際に代替輸送を行うときに備えて、代替輸送訓練が必要だと思いますか。**
7-1 「必要ない」と回答した方は理由を記入してください。
8. 貴社の事業継続計画の策定状況は現在どのような状況ですか。
8-1 『策定の予定はない』とご回答した方は、理由を入力してください。
9. 貴社の今回の訓練を受けて、貴社の事業計画へは活用できそうですか。
9-1 『活用できる』『活用できる部分がある』とご回答した方は、活用できる点がありましたら、入力お願いいたします。
10. 貴社の事業継続計画には代替輸送についての記載がありますか。
11. 『代替輸送について記載がある』とご回答した方は、貴社の事業継続計画に記載されている代替輸送の内容について教えてください。
12. 貴社の事業中断が及ぼす影響の中で、最も重視する項目は何ですか。
13. 貴社の過去に災害等により事業が中断し、代替輸送を行った実績はありますか。
14. **貴社の非常時における事業継続のための対策はどのようなものですか。**
15. 貴社の有事の際に備えて、北陸の港湾を利用していますか。または、これから利用していく計画はありますか。
15-1 『すでに利用している』『今後、利用していく計画である』『現在、検討中である』とご回答した方は、北陸の港湾名を入力してください。
16. 「代替輸送手引書」について改善すべき点やご意見等がありましたら入力してください。
17. 今回の代替輸送訓練について、ご意見、ご感想などがありましたらご記載ください。

 次頁以降、朱書きにフォーカスして分析

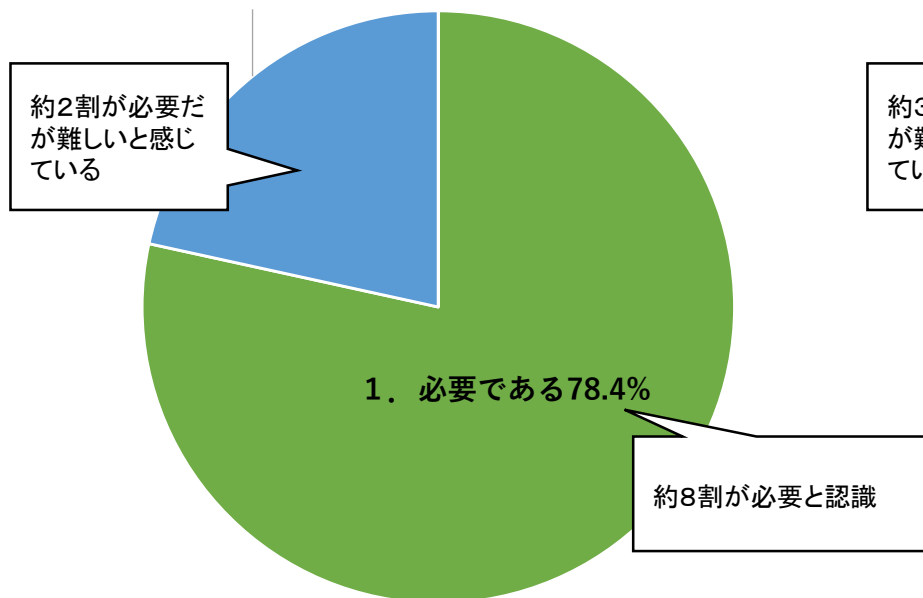
1. 企業BCPへの代替輸送反映に向けた分析（1）

1. 災害時の代替輸送や平時からの代替輸送訓練の重要性

- ・ 代替輸送や代替輸送訓練の重要性についての理解は深まりつつあり、全ての参加者が代替輸送の必要性や効果を実感している段階まできている。
- ・ 一方で、「コスト」や「手間がかかる」ことがハードルとして残っている。

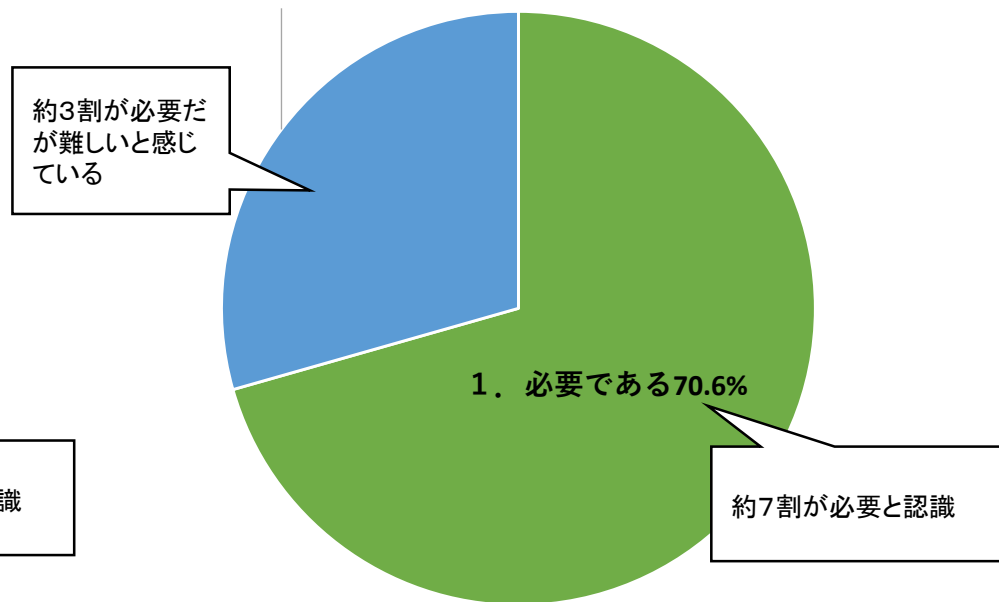
〈設問6〉事業継続のため代替輸送が必要だと思いますか

2. 必要だと思うがコストや
手間を考えると難しい 21.6%



〈設問7〉実際の代替輸送に備えて代替輸送訓練が必要だと思いますか

2. 必要だと思うがコストや
手間を考えると難しい 29.4%



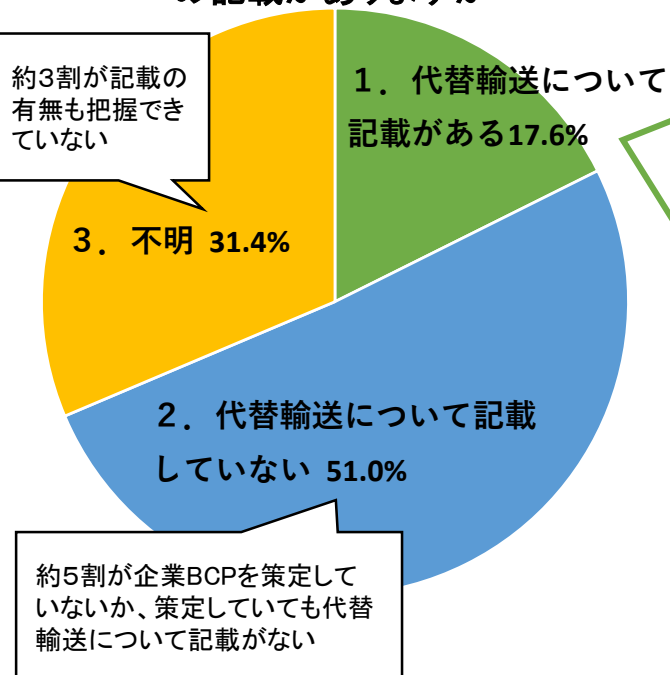
- 「コスト的に見合わない(費用が確保できない)」と考える障壁の存在
- 「スキル・ノウハウの不足」「情報の不足」「人手の不足」の3つの不足の存在

1. 企業BCPへの代替輸送反映に向けた分析 (2)

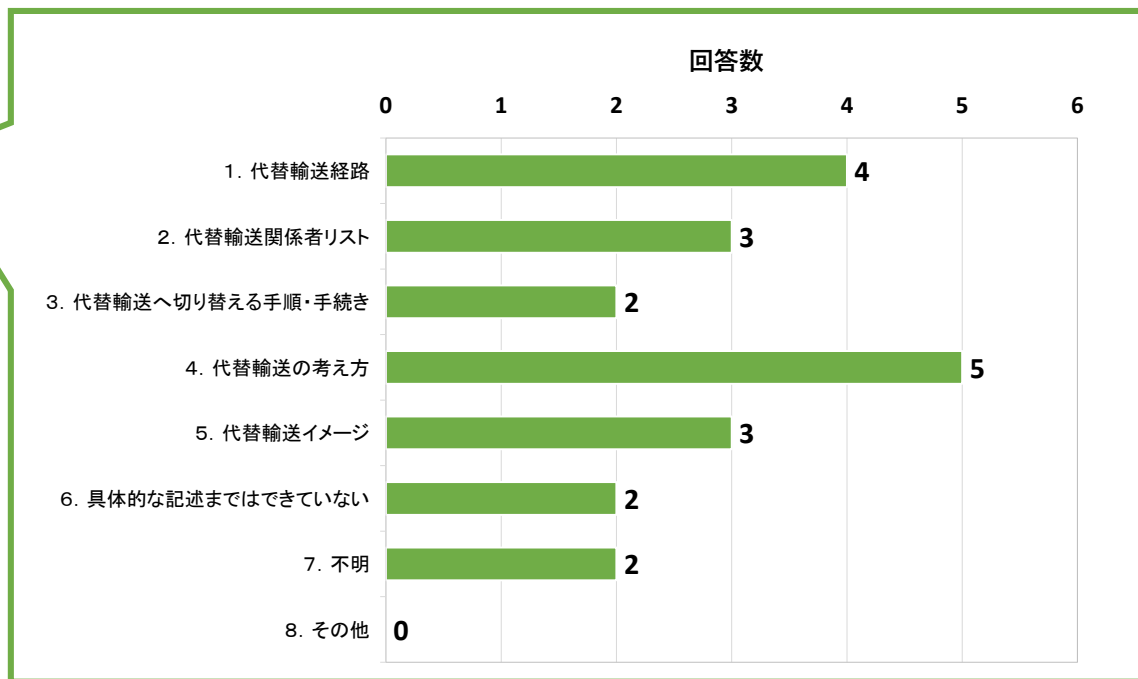
2. 代替輸送ルートの確保を企業BCPに位置づけている割合とその内容

- ・ 重要性は理解しているものの、企業BCPに代替輸送が記載されていない(記載の有無も把握できていない者も含む)実態が改めて確認された。
- ・ 企業BCPに代替輸送について記載があったとしても、有効な記載事項が含まれていないケースも見受けられる。

〈設問10〉事業継続計画に代替輸送についての記載がありますか



〈設問11〉代替輸送に関する具体的な記載内容



- 「自社企業BCPの内容把握」「企業BCPの策定」「企業BCPへの代替輸送記載」の3つの段階的な課題の存在
- 代替輸送に有効な企業BCPの記載内容充実(反映方法)という新たな課題の存在

1. 企業BCPへの代替輸送反映に向けた分析（3）

3. 業種や事業者規模（従業員数）からみた災害時における事業継続対策としての代替輸送

- ・ 規模の大きな事業者（以下、大企業とする）ほど事業継続対策に多くの選択肢を位置付けており、規模の小さな事業者（以下、中小企業とする）は選択肢が少ない傾向にある。
- ・ 中小企業では、大企業とは異なり、自社の代替拠点を設けるといった取組が困難であるが考えられるため、代替輸送を実施して事業を継続することへのニーズが高いことが考えられる（代替輸送でしか、代替戦略を実現し得ない可能性がある）。

〈設問14〉貴社の非常時における事業継続のための対策はどのようなものですか（複数回答可）。

業種	規模（従業員数）	回答
輸送	10,001人～	1. 拠点の複数化, 2. 調達先の複数化, 4. 代替生産, 5. 代替輸送, 6. 公共団体との連携, 7. 関連業者との連携
製造	10,001人～	1. 拠点の複数化, 2. 調達先の複数化, 4. 代替生産, 5. 代替輸送, 7. 関連業者との連携
建設	1,001～10,000人	1. 拠点の複数化, 2. 調達先の複数化, 6. 公共団体との連携, 7. 関連業者との連携
製造	101～1,000人	7. 関連業者との連携
物流	101～1,000人	5. 代替輸送

 ● 中小企業が代替輸送訓練を受け、気づきを得る機会をつくる一層の工夫が必要

1. 企業BCPへの代替輸送反映に向けた分析（4）

4. 次年度の外貿コンテナ代替輸送訓練に向けて

- ・ 代替輸送訓練への参加を通じて、事業継続のための対策としての代替輸送の有効性や代替輸送訓練実施の重要性について気づきを得た、とのコメントが多くあった。
- ・ 一方、訓練の進め方や資料等、訓練内容に関して改善を求める意見・感想もあった。

〈設問17〉今回の代替輸送訓練について、ご意見、ご感想などがありましたらご記載ください。

表1 「代替輸送の有効性や代替輸送訓練実施の重要性について気づき」に関するコメント

業種	コメント
建設	複数の代替輸送経路について、それぞれの有効性、脆弱性を体感できた。
物流	実際に発災した際には、荷主、協業先含め今回の訓練のような形で取り進めていけば良いのだなとイメージが湧いた。
製造	平常時の訓練の大切さを理解できた。

表2 「代替輸送訓練実施」の改善点等に関するコメント

	改善点のコメント
訓練の進め方	<ul style="list-style-type: none">・消極的な参加者については、発言を促す等の対応が必要と感じた。・BCPの有無に関わる検証を行う場合、BCPを所有しているグループにBCPの詳細（対応手順や連絡先など）について説明してほしい。・訓練時間が長いと感じた。訓練の時間を短縮し、訓練に対する最終評価の説明を増やすとフィードバックの内容が判り易くなると感じた。
訓練シナリオ	<ul style="list-style-type: none">・設定が細かすぎるため、シンプルな設定で議論を活発化させるほうが良いと感じた。

 ● 現在の代替輸送訓練がさらにその先の成果を得るためには、訓練内容とその進め方の改善を図りながら継続的に取り組むことが必要

2. 企業のBCPへの代替輸送反映に向けて ～ まとめ ～

アンケートの分析結果及び
企業のBCPへの代替輸送反映に向けた課題

次年度の外貿コンテナ代替輸送訓練に向けて

1. 災害時の代替輸送や平時からの代替輸送訓練の重要性

- 「コスト的に見合わない(費用が確保できない)」と考える障壁の存在
- 「スキル・ノウハウの不足」「情報の不足」「人手の不足」の3つの不足の存在

①: 日頃から物流ルート等に多重性を持たせることが災害時の円滑な事業継続を実現する最も有効な手段である。一方、コスト高になる傾向にあることから、中小企業含めて全ての企業が共通してできる取組みとして、代替輸送の具体的な手順を企業BCPに明示的に記載してもらうにはどうすべきかを代替輸送訓練の最も重要な行動指針として取組む。

2. 代替輸送ルートの確保を企業BCPに位置づけている割合とその内容

- 「自社企業BCPの内容把握」「企業BCPの策定」「企業BCPへの代替輸送記載」の3つの段階的な課題の存在
- 代替輸送に有効な企業BCPの記載内容充実(反映方法)という新たな課題の存在

②: トップの経営判断に代替輸送及び平時からの備えが重要であることを広く認識してもらう取組みとなるよう、広域バックアップ専門部会の構成員との連携を進める。

3. 業種や事業者規模(従業員数)からみた災害時における事業継続対策としての代替輸送

- 中小企業が代替輸送訓練を受け気づきを得る機会をつくる一層の工夫が必要

③: 各県(隣接する内陸県含む)の事業継続支援担当部局や各県商工会議所等と一層の連携を行い、中小企業の訓練参加数増加を目指す。

4. 次年度の外貿コンテナ代替輸送訓練に向けて

- 現在の代替輸送訓練がさらにその先の成果を得るためには、訓練内容とその進め方の改善を図りながら継続的に取組むことが必要

④: その年ごとの訓練テーマを明確にし、シナリオに工夫を入れることで改善を繰り返す。

⑤: 訓練の運営に関する意見についても可能な限り改善する。

次年度の代替輸送訓練等のスケジュール(案)

1. 令和5年度 第1回広域バックアップ専門部会:夏頃
 - 代替輸送訓練の実施方針(訓練の主テーマ) 等

令和4年度まで首都圏直下型想定で1回、南海トラフ巨大地震想定で1回の計2回/年行っていたが、R5dからは1回/年に変更予定

2. 令和5年度 代替輸送訓練
 - 外貿コンテナ代替輸送訓練(1回):10月頃
 - 内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送訓練(1回):10月頃

令和4年度に新たに検討を開始した内航フェリー・RORO船を活用した代替輸送訓練を試行的に1回/年実施予定

3. 令和5年度 第2回広域バックアップ専門部会:2月頃
 - 代替輸送訓練実施報告
 - 代替輸送訓練手引書の改訂検討 等

企業BCPに代替輸送ルートや代替輸送手順等を記載してもらうためには?の視点で検討

4. 令和5年度 国際物流戦略チーム幹事会:2~3月頃

參考資料

(参考1) 外資コンテナ代替輸送訓練のアンケート結果 (1)

- ① 訓練へのリピート参加は、一定の割合であるが、初参加の割合の方が毎年多いことは、訓練の経験者が増え、代替輸送訓練の裾野が広がっていることが言える。
- ② 事業継続計画を策定済みの参加者は、令和4年度：85%であった。事業継続計画の策定済みの割合が増加傾向であり、緊急時への対応策が図られてきている。

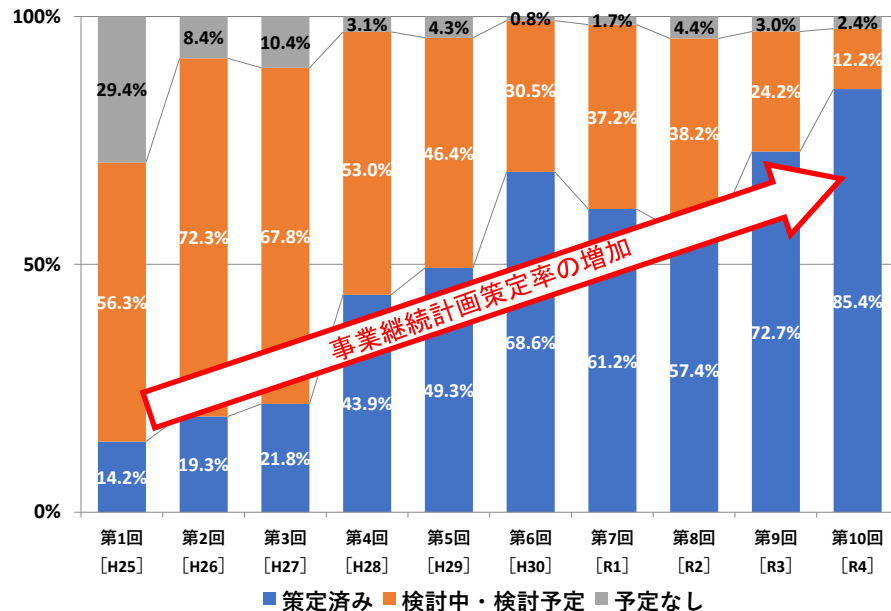
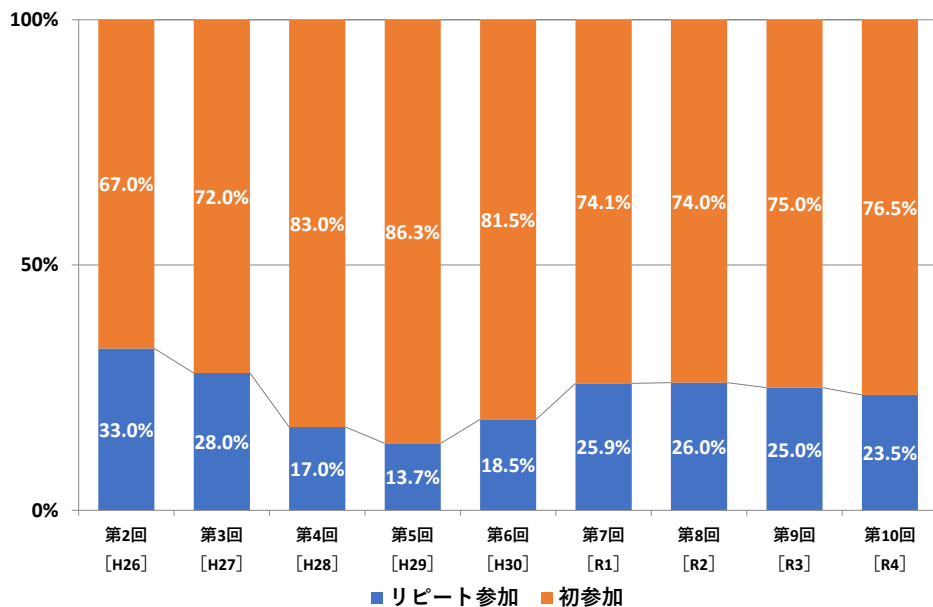
①訓練への参加リピート率

リピート率:約25%
初参加率:約75%

②事業継続計画の策定状況

問 この代替輸送訓練は平成25年から実施していますが、過去に参加したことがありますか。

問 事業継続計画の策定状況は現在どのような状況ですか。



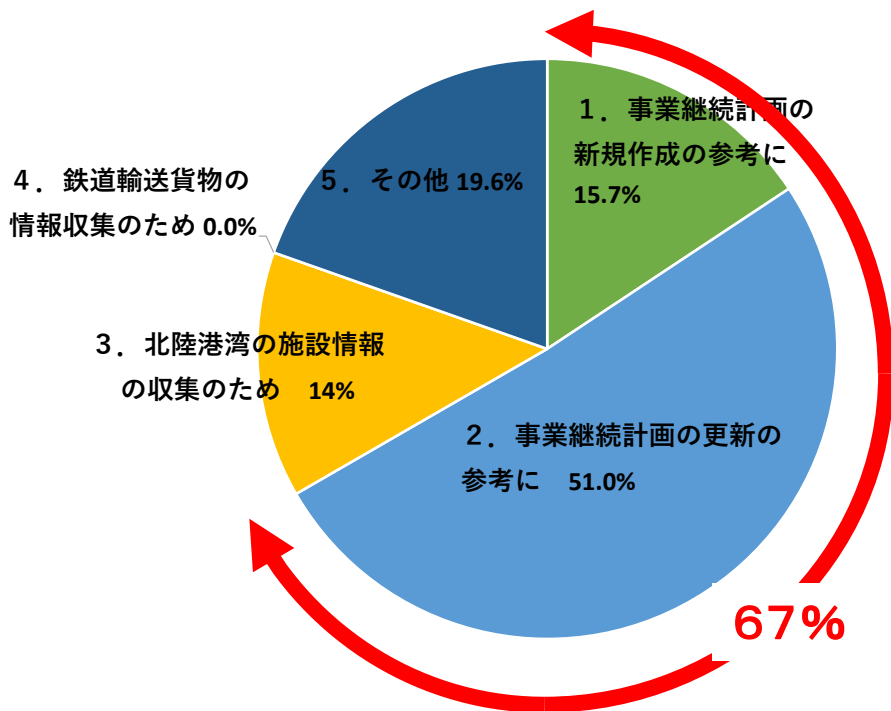
(参考2) 外資コンテナ代替輸送訓練のアンケート結果 (2)

- ① 代替輸送訓練の参加目的としては、「事業継続計画の新規作成の参考」「事業継続計画の更新の参考」を合わせると67%となり、事業継続計画の新規作成・更新に関わる情報に需要がある。
- ② 今回訓練の検証の達成度については、「企業BCPの有効性が理解できた」と答えた人の割合は92%と高い割合で企業BCPの有効性を理解いただけた。

【令和4年度】

①訓練参加目的

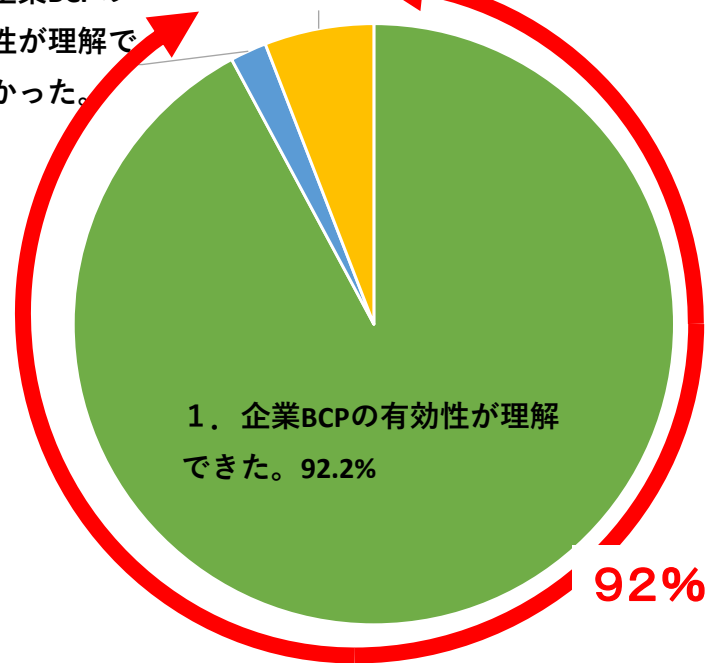
問 参加いただいた目的を教えてください。



②今回訓練の検証の達成度

問 今回の代替輸送訓練についてどのように思われましたか。 3. その他 5.9%

2. 企業BCPの有効性が理解できなかった。 2.0%



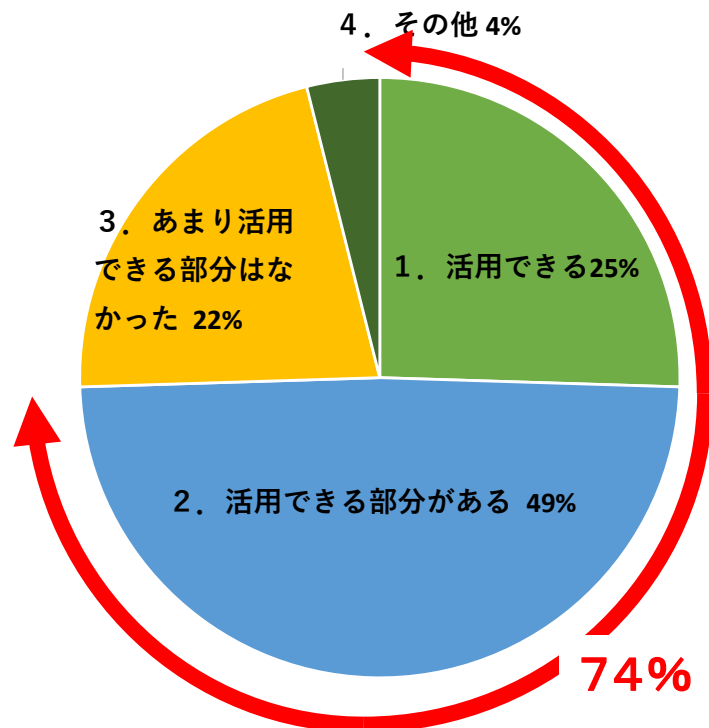
(参考3) 外貿コンテナ代替輸送訓練のアンケート結果 (3)

- ① 今回の訓練が会社の事業計画に活用できるか否かについては、「活用できる」「活用できる部分がある」を合わせると74%であった。
- ② 今回訓練参加者における過去の災害等で代替輸送の実績の有無については、「代替輸送の実績がある」と答えた人の割合は28% (51件中14件) であった。

【令和4年度】

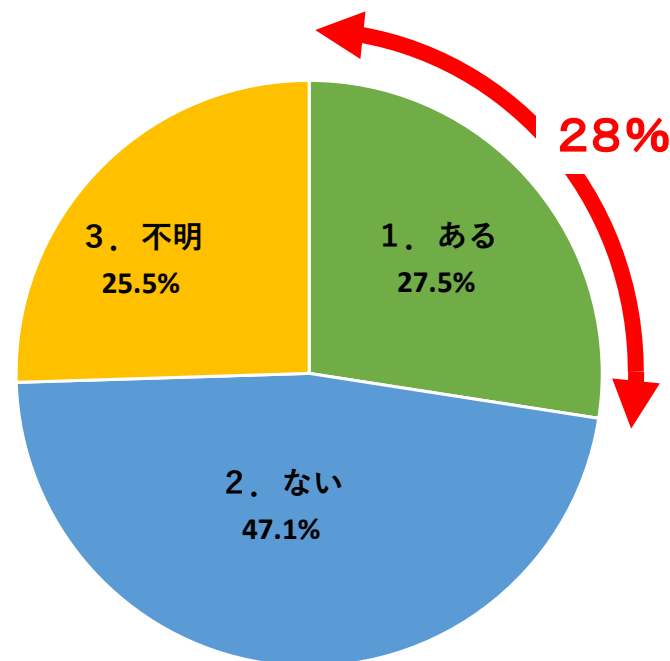
① 今回の訓練の活用できるか

問 今回の訓練を受けて、貴社の事業計画へは活用できそうですか



② 代替輸送の実績

問 貴社の過去に災害等により事業が中断し、代替輸送を行った実績はありますか。



(参考4) 外貿コンテナ代替輸送訓練のアンケート結果 (4)

今回訓練参加者が考える非常時における事業継続のための対策については、「関係業者との連携」、「拠点の複数化」、「調達先の複数化」、「代替輸送」の順の回答となった。

【令和4年度】

非常時における事業継続のための対策

問 貴社の非常時における事業継続のための対策はどのようなものですか。(複数回答可)

